

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第 17 号

- 那須円照 『俱舍論』とその諸註釈における三世実有論批判の研究 (3)
—仏教の時間論— (1)
- 那須良彦 俱舍論根品心不相応行論
—世親本論と諸註釈の和訳研究(7)— (31)
- 赤羽律・早島慧・西山亮 *Prajñāpradīpa-ṭīkā* 第 XXIV 章テキストと和訳(2)
—uttarapakṣa 1— (63)
- 五島清隆 チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(5)— (87)

2013 年

インド哲学研究会

<http://www.jits-ryukoku.net/>

執筆者紹介

那須円照 (なす えんしょう)	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員
那須良彦 (なす よしひこ)	龍谷大学非常勤講師
赤羽律 (あかはね りつ)	オーストリア科学アカデミー、アジア文化・思想史研究所 研究員
西山亮 (にしやま りょう)	龍谷大学アジア仏教文化研究所リサーチアシスタント
早島慧 (はやしま さとし)	龍谷大学大学院
五島清隆 (ごしま きよたか)	佛教大学非常勤講師

編集後記

ようやく『インド学チベット学研究』の第 17 号を刊行することができました。早くに校了して頂いた寄稿者には刊行が遅れたことを御詫び申し上げます。本号も『俱舍論』とその諸注釈、『般若灯論』の複注、『梵天所問経』の翻訳研究を掲載しております。その大部分は、世界の学界を見ても、初めての現代語訳の試みであり、今後の仏教研究の発展に大いに寄与するものであります。なお、すべての論考は、編集責任者もしくは編集協力者の査読を受けていることを明記しておきます。

本号も共同編集者の乗山悟氏の献身的な努力により刊行できました。あつく御礼申し上げます。また、乗山氏の手により、「インド哲学研究会」のホームページにすべての既刊号に掲載された論文の pdf ファイルが、執筆者の了解を得て、公表されています。ご利用頂ければ幸いです。

最後に、本誌の編集方針をご理解頂いて、研究論文や翻訳研究を投稿してくださる方を歓迎いたします。ご遠慮なく御申し出ください。(桂記)

『インド学チベット学研究』入手のご案内

第 2 号、第 3 号、第 4 号、第 9-10 号、第 14 号については残部がございます。入手を希望されます場合は、編集者までご連絡ください。費用などをお知らせいたします。

また、当学会ホームページ(<http://www.jits-ryukoku.net/>)より本誌の PDF ファイルのダウンロードが可能です。(PDF ファイルのネットでの公開は事情により中止する場合がありますのでご注意ください。)

＜バックナンバーのご案内＞

第 1 号 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasaṅgraha と Tattvasaṅgrahapañjikā の 23 章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教徒のジャイナ教批判(2)— 藤田祥道／『五百頌般若経』について—試訳(承前) 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論(上) 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(I)

第 2 号 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴経論』第一偈の一考察— 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの極微論(2)—極微

が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察
(1)—*Tattvasaṃgraha* と *Tattvasaṃgrahapañjikā* の 23 章外界対象の考察—

第 3 号 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴經論』第 13 章「修行章」—サンスク
リットテキストと和訳— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(III) 乗山悟
／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭīkā* 研究(1)(pp. 1-5)—

第 4 号 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭīkā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗／<経量部
の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子の理論 岡本健資／
クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／アビダルマ研究ノート

第 5・6 号 神子上恵生／インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション 原田和宗／<経量
部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(V) 岡本健資／クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa
brjod pa* 試訳(2) — 櫻井良彦／説一切有部における衆同分の分類 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Suicide
and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint —On Nikāya, Vinaya Piṭaka and the Chinese Canon— Satoru
NORIYAMA(乗山悟)／On the Maṅgala verse of Hetubinduṭīkā Erich FRAUWALLNER(那須円照訳)／Die
Erlösungslehre des Hīnayāna(小乗の解脱論)*

第 7・8 号 村上真完／大乘仏教の起原 武田宏道／認識主体としてのブドガラ存在に関する批判—『俱舍
論』破我品の所説を中心にして— 那須円照／*Abhidharmaḍḍipā* (『アビダルマディーパ』)の時間論<三世
実有論>試訳 岡本健資／*Divyāvadāna* 第 26 章所収ウパグプタの物語試訳—猿の瞑想・娼婦への教化・
マラーへの教化— 那須良彦／説一切有部における得と随得 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Mental
disorders from a Buddhist View, especially those within the Nikāya, the Vinaya Piṭaka and the corresponding
Chinese translations*

第 9・10 号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜— I. 『般若経』: 「智慧の完成」を誹
謗する菩薩と恐れる菩薩— 乗山 悟／アルチャタの「主題所属性論」—*Hetubinduṭīkā* 研究(3)(pp.114–
17,23)— 那須円照／*Pratisaṃkhyānirodha*—"Documents d'Abhidharma traduits et annotés par Louis de La
Vallée Poussin: Textes relatifs au Nirvāṇa et aus Asaṅkṛta en général II." *Bulletin de l'École Française
d'Extrême-Orient* 30: p. 272.11-292.17 和訳— 岡本健資／王弟ヴィータショーカの物語—*Divyāvadāna* 第
28 章 *Vīśāṅkāvadāna* 和訳— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA／*Mūlamadhyamakakārikā* I-X

第 11 号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 III—『解深密経』: 三無自性という一乗
道の開示— 那須円照／『俱舍論』とその諸註釈における作用をめぐる論争—試訳 那須良彦／俱舍論根
品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(2)— 志賀浄邦／*Tattvasaṃgraha* 及び
Tattvasaṃgrahapañjikā 第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラ
トナーカラ第一章試訳・その 1 Peter SKILLING／*Mṛgāra's Mother's Mansion: Emptiness and the Śūnyatā
Sūtras*

第 12 号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 IV—『大乘莊嚴經論』: 総括と展望— 那
須円照／『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(1) 那須良彦／俱舍論根品心不相応行論
—世親本論と諸註釈の和訳研究(3)— 志賀浄邦／*Tattvasaṃgraha* 及び *Tattvasaṃgraha-
pañjikā* 第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(2) 五島清隆／龍樹の仏陀観—龍樹文献群の
著者問題を視野に入れて— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA / *Mūlamadhyamakakārikā* XI-XXI O. v
HINÜBER / *The Advent of the First Nuns in Early Buddhism*

第 13 号 内藤昭文／『大乘莊嚴經論』の構成と第 IX 章「菩提の章」の構造—ウッダーナ(X, k.1)の理解を
踏まえて— 乗山悟／アルチャタの「遍充論」—*Hetubinduṭīkā* 研究(4)(pp. 17, 21–21, 10)— 那須円照／
『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(2) 志賀浄邦／*Tattvasaṃgraha* 及び
Tattvasaṃgrahapañjikā 第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(3) 五島清隆
／チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラトナーカラ第一章試訳・その 2
Klaus Glashoff / *From Trairūpya via Hetucakra to Uddyotakara*

第 14 号 内藤昭文／『大乘莊嚴經論』第 IX 章における「法界清浄の六義」理解—*bauddhadhātu* と
dharmadhātu の意図する構造— 那須円照／『婆沙論』第 75 卷「虚空と空界」及び『俱舍論』II. 55 c-d

に対する衆賢註「三つの無為、虚空、非摂滅」—Louis de La Vallée Poussin によって翻訳され註釈された
アビダルマ文献: 涅槃と無為一般に関わる諸テキスト II の和訳研究— 那須良彦/ 俱舎論根品心不相
応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(4)— 五島清隆/チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(2) 岡
崎康浩/サンギータラトナーカラ第 1 章試訳・その 3 Vincent ELTSCHINGER, Isabelle RATIÉ/Dharmakīrti
against the *pudgala* Mark SIDERITS, Shoryu KATSURA/ *Mūlamadhyamakakārikā* XXII -XXVII

第 15 号 志賀浄邦・志田泰盛/ *Yuktidīpikā* 87, 18 - 97, 17 (ad SK 6ab) 和訳と注解 那須円照/『俱舎論』
とその諸註釈における三世実有論批判の研究 (1)—仏教の時間論— 那須良彦/俱舎論根品心不相応行
論—世親本論と諸註釈の和訳研究(5)— 岩田朋子/出家者の修行場所—『根本説一切有部毘奈耶臥坐具
事』*Śayanāsanavastu* の和訳(1)— 吉田哲/ *Pramāṇasamuccayaṭīkā* 第一章 (ad PS I 3c-5 & PSV) 和訳 赤
羽律・早島慧・西山亮/ *Prajñāpradīpa-ṭīkā* 第 XXIV 章テキストと和訳(1)—*anusamḍhi & pūrvapakṣa* — 五
島清隆/チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(3) Horst LASIC/ *Meditations on the Retrieval of Lost Texts*
with Special Reference to the Sāṅkhya Section of *Pramāṇasamuccaya*, Chapter 2 Alberto TODESCHINI/ *On*
the Ideal Debater: Yogācārabhūmi, Abhidharmasamuccaya and Abhidharmasamuccayabhāṣya

第 16 号 李学竹/ *Abhidharmasamuccayavyākhyā* の序文について 乗山悟/アルチャタの「知覚判断説(1)」
—*Hetubinduṭīkā* 研究(5)(pp. 21, 11–23, 11)— 那須円照/『俱舎論』とその諸註釈における三世実有論批
判の研究 (2)—仏教の時間論— 那須良彦/俱舎論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究
(6)— 岩田朋子/出家者の修行場所—『根本説一切有部毘奈耶臥坐具事』 *Śayanāsanavastu* の和訳(2)—
五島清隆/チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(4)

インド学チベット学研究 第 17 号

2013 年 12 月発行

編集者 桂紹隆・乗山悟

発行者

インド哲学研究会 (代表者 桂紹隆)
Association for the Study of Indian
Philosophy

〒600-8268

京都市下京区七条大宮

龍谷大学文学部

桂研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES,

FACULTY OF LETTERS,

RYUKOKU UNIVERSITY,

SHICHIJO OMIYA, KYOTO 600-8268, JAPAN

<http://www.jits-ryukoku.net/>

e-mail: skatsura@let.ryukoku.ac.jp

電話 (075) 343-3311 (大代表)

銀行口座 みずほ銀行 京都支店 (普)1003766 桂紹隆

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES
(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

<http://www.jits-ryukoku.net/>

No. 17, 2013

CONTENTS

Ensho NASU,

The Sautrāntika Critique of the Sarvāstivādin Theory of the Real-Existence of *Dharmas*
in the Three Time Periods as Found in the *Abhidharmakośabhāṣya* and Its Commentaries (3):
A Study of Buddhist Time Theories ----- (1)

Yoshihiko NASU,

On *Cittaviṣayakarmasādhāraṇa* in the *Abhidharmakośa*, Chapter II
—An Annotated Japanese Translation of the *Abhidharmakośa* and Its Commentaries (7)--- (31)

Ritsu AKAHANE, Satoshi HAYASHIMA and Ryo NISHIYAMA,

The XXIVth Chapter of the *Prajñāpradīpa-ṭīkā*, Tibetan Text and Japanese Translation (2)
—*uttarapakṣa* 1----- (63)

Kiyotaka GOSHIMA,

An Annotated Japanese Translation of the Tibetan Version of the *Brahmapariṣecchā* (5) ---- (87)

Editor

Shoryu Katsura

Satoru Noriyama

Association for the Study of Indian Philosophy

Kyoto, Japan